

タイ王国ムエタイ× 山形県キックボクシングの異文化交流

山形県キックボクシング連盟 会長 齋藤 智宏

立ち技世界最強の格闘技と名高いタイ王国の国技ムエタイ。

ムエタイの頂点を極めたタイ人王者が山形県で指導者として活躍している。格闘技というと、暴力的で怖いイメージを持つ方が多いかもしれないが、実際は強くあればあるほど優しい人が多い。私が知るタイ王国のムエタイ選手たちは、皆自分に厳しく明るくユーモアがあり他人に優しい。ムエタイの世界王者は優しさの世界王者でもある。そんな世界王者の指導を直接受けられる環境は東北地方において稀有であり、本物を求める多くの顧客ニーズを得ている。(現在は新型コロナの感染拡大を受けて一時帰国中。終息後に再び来日、指導を再開予定。)

山形県に指導者がいなかった10年前、競技選手だった私はボクシンググローブとランニングシューズ片手にタイ王国ムエタイジムでトレーニングと試合に没頭していた。現地の経験や交友関係はこれまでの人生観を一変させるほどで、自身の経験を生かし山形県でのムエタイ普及を考えるようになった。しかし、ムエタイの危険を伴う競技性は万人向けとは言えず、流れを汲むスポーツとして認知度が高いキックボクシングであればスポーツとして楽しさを伝えられると考え、山形県初の本格ムエタイ・キックボクシングジムを開設した。青少年育成と社会貢献を念頭に公共性を重視した普及活動を行うため、山形市と山形県に競技団体を設立し、2017(平成29)年に(公財)山形市スポーツ協会に、2018(平成30)年には(公財)山形県スポー

ツ協会にキックボクシング競技として全国で初めて加盟を認められた。

私たちは日頃から防犯パトロール活動をはじめ社会貢献活動に従事している。昨年7月、パトロール中に山形市内で発生した住宅火災を発見し、逃げ遅れた住民を救助した。そのことが広く市民の模範として認められ、山形市より「篤行表彰」を受けた。

現在は山形県内4地区(山形市・北村山・庄内・置賜)に協会を発足し各地区の行政機関、学校PTA、企業と協力して普及活動を行い、県内広域に1,000名を超える愛好者が誕生している。約4割が女性で美容、健康増進、ダイエット、新しい趣味としてキックボクシングに挑戦している。アマチュア日本王者や本場タイ王国で活躍する女子選手を輩出しており、それに続き試合挑戦やタイ王国でのトレーニング体験を目標にする女性も増えている。今や山形県の格闘技市場は女性を中心に動いていると言っても過言ではない盛り上がりを見せている。

近年は山形県タイ友好協会やバンコク山形県人会から協力を得られるおかげで、顧客や選手を引率したタイ王国遠征や観光が行いやすく、雇用しているタイ人指導者の渡航サポートも受けることができ、とても助けられている。いま世界中がCOVID-19の感染拡大と戦っているなか、ワクチン接種と感染防止措置で早期ノックアウトを目指し、渡航再開後も引き続き雇用、異文化交流、国境を越えたインバウンド・アウトバウンドで社会に貢献できる普及活動を継続していきたい。



ジムのレッスン風景



山形市より人命救助表彰

齋藤 智宏 (さいとう・ともひろ)

1979年、東京都昭島市生まれ。

1986年山形県山形市へ転入、高校卒業後山形で就職。その後、タイ王国でのムエタイ選手経験を経てYs.k KICKBOXING GYMを開設、代表を務める。2016年山形市キックボクシング協会、2017年山形県キックボクシング連盟を設立、会長に就任。(公財)山形県スポーツ協会評議員、タイ王国「MAX MUAYTHAI」レギュラー参戦契約、霸王スーパーウェルター級王者。